

考査出題範囲の配布をやめます

これまで考査 1 週間前に出題範囲を一覧にまとめ配布をしてきましたが、2 学期中間考査より配布をやめることになりました。その代わり 2 週間前までに本日配布されたように出題範囲をまとめられるように用紙を配布します。各授業の中で早めに考査範囲を発表してもらいますので、それをみなさん一人ひとりがメモを取り、自分でまとめてください。聞き漏らしのないように、先生の話をよく聴いてください。

このように変更する理由の1つは、考査に向けての学習の意識を高め、早めに取り組んでほしいからです。中には、全部そろっていないとテスト勉強をスタートできない人もいるようですが、範囲が示された科目から計画的に学習に取り組みましょう。

考査出題範囲記入用紙配布	9月4日(火)
2学期中間考査	3年:9月19日(水)~21日(金) 2年:9月20日(木)~21日(金)

学習時間は大丈夫？

気になるデータがあります。年 2 回行っている校外模試のアンケートの中で「授業外の学習時間」を問われ、「**学習しない**」と答えた人が 50%以上いました。週末課題などの宿題はどうしているのでしょうか。予習復習はしていないのでしょうか。こんな状況で大丈夫でしょうか。心配です。勉強しなくても大学に入学できると考えていませんか。確かにある程度の評定を維持していれば推薦入試等で入学できるところはあります。しかし、入ってから勉強についていけなくて退学してしまう人もいます。勉強が嫌いだから就職すると考えていませんか。今の世の中、社会に出てからも勉強することはたくさんあります。進学するにしても、就職するにしても、勉強する習慣がないと人一倍苦勞することになります。後悔しないように高校時代にやれることはやっていきましょう。

長野県出身の宇宙飛行士由井亀美也さんは自分の高校時代についてこう語っています。

「高校時代、自分のことと言えば、とても視野が狭かった。例えば、宇宙に関連する物理や数学は大好きで、言われなくても勉強していたが、音楽などの芸術や国語などには全く興味はなかったし、勉強もしなかった。当時はそれでも良かったが、今となっては、『**もっと視野を広く学んでおけば良かった**』と思う場面はたくさんある。例えば、宇宙で得た経験や感動を日本語でしっかり伝えることは、宇宙飛行士としてとても大切な役割だ。言葉でなくても、歌や絵で表現できればそれもいい。しかし、それは私には難しいと感じることであり、自分なりに考えて芸術方面のセンスを磨いていく努力も必要だった。だから、高校時代や受験生時代には好き嫌いを決めず、いろいろなことにチャレンジしてほしい。」

また、防衛大学へ進学し、宇宙飛行士への道がなくなったと考えたとき、ある先輩から「いま目の前にやるべきことがたくさんある。悩みながらもそれを一生懸命やれば将来の道は開けていくし、何もやらなければ、自分の知らないところでどんどん選択の余地は無くなっていく。悩んでもいいからがんばれ」といわれた。悩みながら頑張ると宇宙飛行士への道が開けていったそうです。

